

# TUSA

## IKELITE (IK-280)

### アイトライツ 取扱説明書



OWNER'S INSTRUCTION MANUAL

第3版

株式会社タバタ

★八潮事業所: TUSA事業部  
〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根768  
☎048-996-7133 FAX.048-997-1606

★大阪事業所  
〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-4-5 谷町センタービル  
☎06-6949-2661 FAX.06-6949-2671

九州エージェンシー  
〒814-0104 福岡県福岡市城南区別府6-2-32  
☎092-847-3681 FAX.092-847-3690

沖縄エージェンシー  
〒904-2222 沖縄県うるま市字上江洲272-6  
☎098-974-5402 FAX.098-974-5403

◎お問い合わせ先

TUSAお客様相談室 ☎0120-989-023  
〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根768

IK-280 取説 第3版 ※本文の無断転写をかくお断りします。  
© Copyright 2008 Tabata Co.,Ltd. All Rights Are Reserved.

当製品をご使用になる前に、必ずこの使用説明書を読み、  
取扱方法及び危険、警告及び注意事項を完全に理解するよ  
うにしてください。

### ！危険事項

- スクーバダイビングを行うにあたっては、国際的に認知されている潜水指導団体の学科講習及び実技講習を必ず受けて下さい。安全性の見地から、各指導団体の発行するCカード(講習終了認定証)を取得していない方の当製品の使用を禁止いたします。[但し、各団体のインストラクター監督下における講習中の使用は、この限りではありません。]
- スクーバダイビングを行う際には絶対に一人で潜らず、必ずバディシステムを守るようにして下さい。単独潜水は、重大な事故につながる可能性があり、大変危険です。(日本スクーバ協会共通掲載危険事項)

### ！警告事項

- スクーバダイビングを行う際には、必ず良好な健康状態で行なって下さい。少しでも寒気を感じたり、疲れていたたり、気分が悪かったりする場合には、絶対に無理を避け、ダイビングを中止して下さい。(日本スクーバ協会共通掲載危険事項)
- スクーバダイビングを行なう前には、アルコール類の摂取はもちろんのこと、薬品類の服用も避け、体調の悪い方や持病のある方は必ず医師の診断を受けて下さい。(日本スクーバ協会共通警告危険事項)

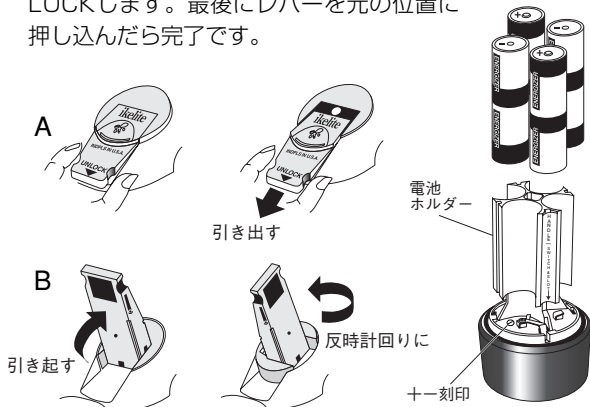
### ！注意事項

- 高発光量のハロゲンバルブを採用しているため、陸上では出来る限り点灯(必ず10分以内)しないで下さい。また、持ち運びする際や長時間使用しない場合は、必ず電池を抜いて下さい。液漏れが起きたり、電池が消耗することはもちろん、不用意にスイッチがONになった場合、ハロゲンバルブが加熱して本体が破損する可能性があります。
- リングにゴミ、ホコリ、毛髪等が絶対に付着しないよう、また、指で引っ張ったりしてキズをつけたりしないようにご注意ください。いずれの場合も水没につながる可能性があります。
- 電池を入れる際には、電池の向きをよく確認して入れて下さい。間違った入れ方をすると、ショートして破裂する可能性があります。
- IK-280の耐圧性能は90m(メーカーテスト値)です。(尚、安全のためにも、レジャーダイビングの最大深度は30m以内にとどめる事を強くおすすめします。)
- 強い衝撃を与えるとハロゲンバルブが切れたり、故障の原因となりますので、取り扱いには充分注意して下さい。

## 電池の入れ方

新品の単2マンガン電池を8本ご用意下さい。電池寿命は使用状況により異なりますが、連続照射で約1時間です。

- ①ライトのリフレクター部分を下側に向けて、平らな机や床の上に置きます。
- ②図Aのように、LOCKレバーを矢印の方向に引き出します。
- ③次に、図Bのようにレバーを引き起こし、反時計回りに回転させてLOCKを解除します。
- ④本体カバーをグリップごと持ち上げて取り外し、電池ホルダーの＋の刻印の向きに合わせて、新品の単2電池を8本入れます。
- ⑤「HANDLE / SWITCH & SLOT」の文字の向きと、グリップの向きが合うように、本体カバーを被せます。(電池ホルダーが外れた場合には、「電球の交換方法」の④の要領ではめ戻して下さい。)
- ⑥本体カバーを上から押さえつけながら、LOCKレバーを時計周りに回転させ、図Bと逆の手順でレバーを倒してLOCKします。最後にレバーを元の位置に押し込んだら完了です。



## 使用方法

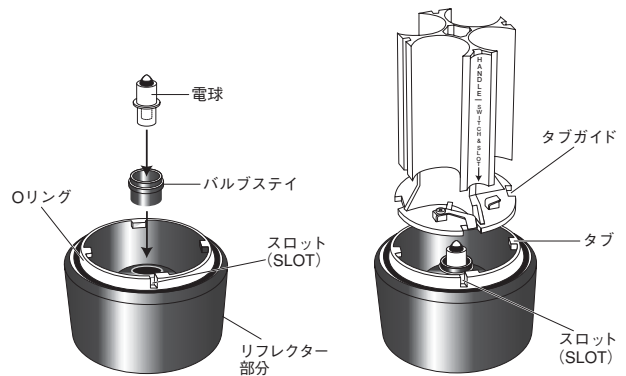
- グリップをしっかりと握り、上部のスイッチを時計周りに回転させると点灯し、反時計周りに回転させると消灯します。  
※スイッチには誤作動を防止するためのロック機構(白いレバー)が付いています。必要に応じてご使用下さい。
- 付属のストラップは、本体カバーのストラップ通し穴に通し、結んで使用します。ストラップに一旦手を通してからグリップを握ると、落下防止になります。

## メンテナンス方法

- 使用後は、そのままよく水洗いを行い、陰干しをして下さい。充分乾燥したら中の電池を取り出して下さい。また、保管の際は、LOCKレバーを解除しておいて下さい。
- Oリングを長持ちさせ、水没を防ぐためにも、Oリングが乾燥しかけたら、市販のシリコングリースを少量指に付け、極めて薄く全周に塗り拡げてから使用するようして下さい。
- ハロゲンバルブは純正のバルブをご使用下さい。純正品以外の場合はバルブ切れなどのトラブルの原因となります。(詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。)

## 電球の交換方法

- ①「電池の入れ方」と同様の手順で、本体カバーを取り外し、電池ホルダーから電池を取り出します。
- ②電池ホルダーを反時計回りに少し回転させて、リフレクター部分から取り外します。
- ③リフレクター部分の中からバルブステイと電球を取り出し、電球を交換します。この際、必ず電球の金属部分をつまんで交換して下さい。
- ④①～③と逆の手順で元に戻します。電池ホルダーは、「HANDLE / SWITCH & SLOT」の文字下の矢印と、スロットの位置が固定した時に合うように、リフレクター部分にはめ込みます。



## その他の注意事項

- 電池を交換する際は、必ず全数新品のマンガン電池をご使用下さい。新旧の電池を混ぜて使用しないで下さい。アルカリ電池、オキシライド電池、充電式電池(ニッカド電池、ニッケル水素電池など)はバルブ切れを起こしやすいので、使用しないで下さい。
- 直射日光下や、炎天下の車内やトランク内等の、極端に熱い場所に放置しないで下さい。熱や紫外線の影響によって破損したり、素材寿命が縮まったりすることがあります。
- 各部に付着した汚れが気になる場合は、市販の中性洗剤をメーカー指定の希釈率(洗剤の裏面の説明に表示)にうすめて入れた水で洗い、その後洗剤成分を流水で完全に洗い落として下さい。強い洗剤をそのまま用いたり、つけ置き洗いをしたり、洗剤成分が少しでも残っていると、洗剤の種類によってはプラスチック素材を侵してひび割れ等を起こさせるものがあります。

## 問い合わせ先

製品の使用方法等についてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは下記までお問い合わせ下さい。

株式会社タバタ TUSA お客様相談室

TEL. 0120-989-023

(受付時間/月～金 9:30～12:00, 13:00～17:00)